

手術室



地域住民の命を守る重要な「砦」

今回は新病院の手術室をご紹介します。大手町病院のなかでも手術室は、地域の救急医療を守る上で大変重要な役割を担っています。24時間・365日稼働し続ける手術室は、新病院でもさらに患者さんや働く職員にとってより良い環境とするべく計画をしています。今回はその内容をご紹介します。



手術室の概略

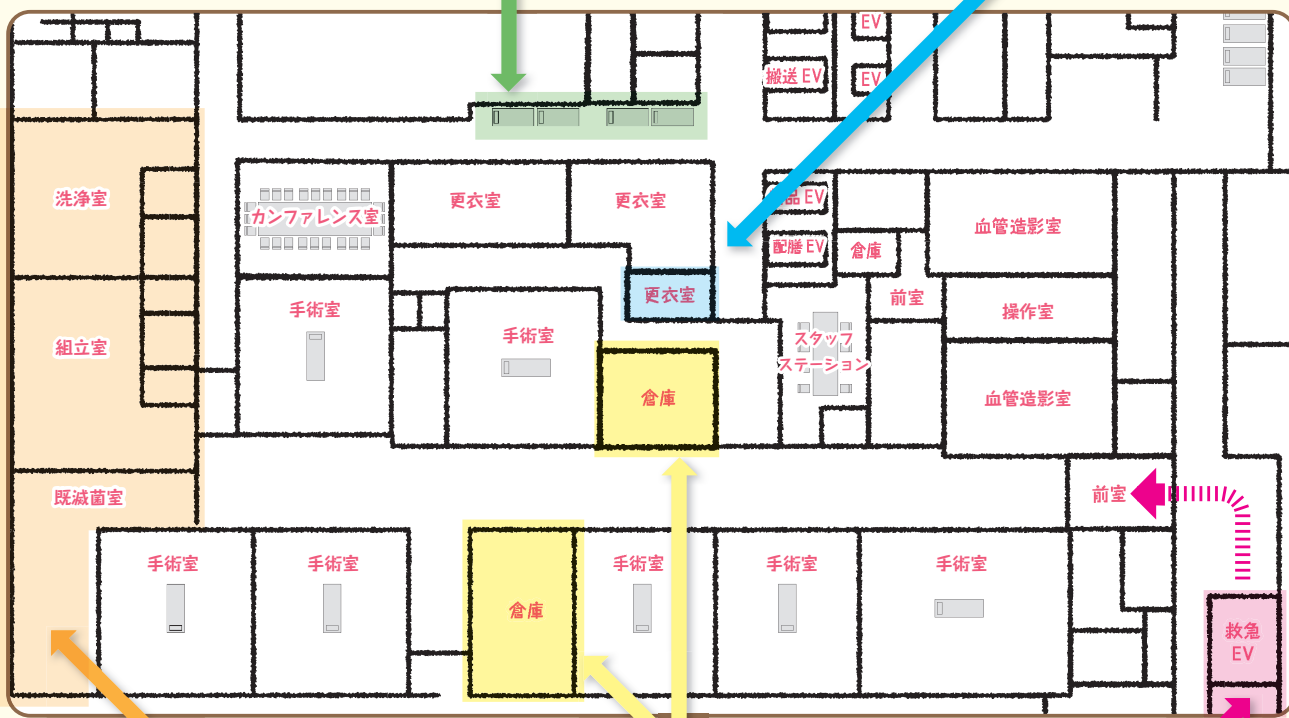
手術室 : 7室
血管造影室 : 2室

Point ベッド待機スペース

ベッド待機スペースがあります。病棟と手術室間のベッド移動が最小とできるため、送迎時の職員の負担が軽減します。

Point 更衣室

日帰り手術を受けるの患者さんに対応して更衣室を手術室のエリア内に設置しています。



Point 当院で滅菌洗浄

現病院では手術室以外（病棟や外来）で使用される鑷子やペアンなどの器具は外部業者に依頼し滅菌洗浄していますが、新病院ではすべての器具の滅菌洗浄が院内で行えるようになります。そのため時間ロスがなくなり、速やかに使用したい器具が手に入ります。

Point 機材庫、資材庫

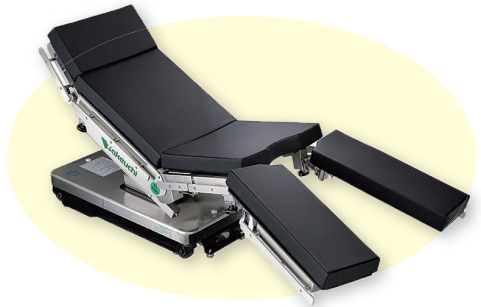
機材庫や資材庫は中心に配置しました。どの手術室にも短い動線で運べることを意識して計画しています。

Point 救急専用エレベーター

1階救急外来との専用エレベーターにより、救急搬送され緊急手術が必要となる患者さんも、すぐに入室することができます。

新病院では機器も新しくなります

手術室では様々な医療機器やシステムを使用しています。
新病院で導入予定の機器を一部ご紹介します。



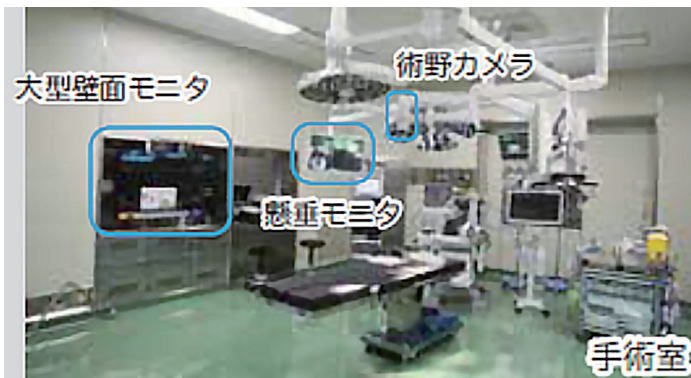
■ 手術台

手術の部位や内容によっては様々な姿勢が求められます。新病院では対応できるよう、最新の手術台を導入します。



■ 无影灯

手術部位を照らす无影灯が新しくなります。LEDとなりより明るくでき、位置や角度の細やかな調整も可能となります。



■ 手術映像システム

新病院では映像システムを導入して、手術中の映像を別部屋でのライブ配信や、後日閲覧することができるようになります。映像システムを用いる事で、学習会や院内カンファレンスで活用でき、後継者育成、医療の質の向上に繋がります。

内装紹介

手術室は部屋毎に、内装の色を変えて分かりやすくしています。

